

VS 昭島市

5月29日はみんなで体を動かそう

Let's Try 15min

チャレンジデー

5/29(水)

チャレンジデー 2013

ことしは昭島市と対戦

初夏のイベントとして定着した「チャレンジデー」。ことしの市の目標は、参加率 80 ㇿです。対戦相手は、東京都昭島市に決定しました。昭島市は、人口 11 万 3, 070 人のまちで、今回が 2 回目の参加です。

チャレンジデーとは？

チャレンジデーは、毎年 5 月の最終水曜日に世界中で行われる住民参加型のスポーツイベントです。15 分以上続けて運動をした人の参加率を競います。対戦に勝利すると、対戦した自治体の庁舎メインポールに、市旗を 1 週間掲げることができます。

みんなで楽しく運動を

市は「週に 1 回スポーツをするきっかけづくり」に取り組んでいます。チャレンジデーにはみんなで体を動かして、ぜひ勝利しましょう。体操やウォーキングなどの軽い運動でも構いません。15 分以上運動をした後に、集計センターへ電話またはファクスで報告してください。報告を受けた人数で参加率を計算します。

□期日 5 月 29 日(水)午前 0 時～午後 9 時

□場所 家庭や学校、職場など

□対象 市民、市外からの通勤者や通学者など

□イベント内容

◆市民総参加・早朝おはよう体操

朝のラジオ体操に地域や個人で取り組みます

◆ふうせん送りでチャレンジ

地区や事業所、学校の部で対抗戦を実施し、それぞれの部門上位を表彰します

◆おうしゅうチャレンジカップ（小中学校対象）

「ふうせん送りでチャレンジ」「ダブルダッチ」

「ロープ・ジャンプ・X」を学校ごとに取り組みます

◆公共スポーツ施設無料開放

このほかにも市内で協賛イベントを開催します。詳しくは市ホームページやチラシでお知らせします
□当日の報告先 集計センター（☎ 0120-578-228、FAX 0120-778-120）

■問い合わせ 本庁スポーツ振興課生涯スポーツ係（江刺総合支所内線 342）

世界遺産「平泉」をイメージしたナンバープレート交付が7月1日からスタート

オリジナルナンバーの受け付け開始

25 年 7 月 1 日から原動機付自転車などのオリジナルナンバープレートの交付を開始します。これは世界遺産に登録された平泉をイメージしたものです。新規登録する人やオリジナルナンバーに変更希望の人で、特定の数字のナンバー交付を希望する人は事前の申し込みが必要です。

■事前受け付け対象種別と希望できる数字の範囲

○原動機付自転車第一種（総排気量 50cc 以下）

「奥州市す・・・1」～「奥州市す・738」

○原動機付自転車第二種乙（総排気量 50cc 超 90cc 以下）

「奥州市の・・・1」～「奥州市「の・212」

○原動機付自転車第二種甲（総排気量 90cc 超 125cc 以下）

「奥州市ほ・・・1」～「奥州市ほ・212」

○ミニカー（三輪のもので総排気量 20cc 超 50cc 以下）

「奥州市わ 5001」～「奥州市わ・5055」

○小型特殊自動車（農耕作業用・その他）

「奥州市ら・・・1」～「奥州市ら・580」

※ただし、下 2 桁「04」「09」「42」「44」「49」は欠番

■応募方法

本庁税務課または各総合支所納税課駐在に備え付けの応募用紙（市ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入し、本庁税務課に直接提出するか、郵送、メールで応募（電話・ファクスでの応募不可）

■応募期限 5 月 31 日(金)（当日消印有効）

■発表 抽選をし、6 月中旬までに当選結果を郵送またはメールで通知

■その他 特定番号の受け付けは今回のみ

■問い合わせ・申込先

本庁税務課諸税係（〒 023-8501 ※住所記載不要、内線 336、✉ zeimu@city.oshu.iwate.jp）



瑞宝単光章（消防功労）
 小野寺善明さん（86）
 〓水沢区佐倉河字染屋〓

昭和 21 年、集落からの要請を受け、消防団の前身組織である警防団に入団。約 40 年にわたり地域の防災に尽力されました。20 代のころ、出初式で旗手を命じられ、団旗を持って行進したのがいい思い出。「地域の人に支えられて、務め上げることができました」と語っています。



瑞宝双光章（警察功労）
 千葉俊夫さん（70）
 〓水沢区真城字上野〓

昭和 36 年県警入り。交通・警備・防犯と各部門で 42 年間勤務し、交通事故防止や治安警備業務のほか、安全で安心できるまちづくりに活躍。警察学校の教官として人材育成にも尽力されました。「家族の理解と協力がなければ務め上げることができなかった」と語っています。



瑞宝単光章（防衛功労）
 那須川賢仁さん（61）
 〓前沢区古城字川原前〓

海への憧れから昭和 45 年に海上自衛隊入り。横須賀、呉、佐世保、大湊の各基地で護衛艦や補給艦、潜水艦などに乗り込み、昼夜を問わず職務に精励されました。退官の 5 年前に、発足したばかりの大湊海上訓練指導隊で初代専任伍長として着任。後進の指導にも尽力されました。



瑞宝双光章（看護業務功労）
 八重樫トキ子さん（78）
 〓江刺区川原町〓

昭和 34 年から県立胆沢病院に 24 年間勤務し、県立北上病院の総看護婦長を最後に退職するまで、県立病院の看護婦として 33 年間勤務。3 つの病院で総看護婦長を務め、後輩の育成に尽力されました。退院していく患者の「ありがとう」の言葉がうれしかったと語っています。秋田県鹿角市出身。



瑞宝単光章（消防功労）
 鈴木春男さん（72）
 〓前沢区字長檀〓

昭和 40 年に前沢町消防団に入団。火災を最小限にとどめることを信条として消防活動に尽力されました。平成 18 年、市町村合併により同区消防団長となり、退任するまでの 2 年間、地域防災の要としてその職務を遂行しました。長年の活動で得たものは「仲間」と話しています。



瑞宝単光章（警察功労）
 福嶋辰男さん（73）
 〓水沢区真城字西鶴巻〓

「少しでも世のためになれば」と北海道警を経て、昭和 39 年県警入り。二戸署を皮切りに宮古、花巻、一関、釜石など 9 つの警察署で勤務。35 歳のころ、宮古署で鑑識に配属となり、以後 15 年間、事件などの物的証拠捜しなどを担当する「緑の下の方持ち」として尽力されました。



瑞宝双光章（消防功労）
 菅原睦夫さん（66）
 〓水沢区佐倉河字今泉〓

昭和 41 年、水沢市消防職員となり、「車の両輪のごとく」消防署と消防団との連携を強化しながら、消防救急業務の高度化と迅速・確実・安全な消防活動に尽力されました。水沢消防署長、胆沢地区消防組合消防本部消防長を経て、胆江地区消防組合消防本部の初代消防長を務めました。

顕著な功績を挙げた人などに贈られる春の叙勲と、警察官など危険な職務に長年従事した人に贈られる危険業務従事者叙勲が発表されました。市内からは、合わせて 7 人がその榮譽に輝いています。受章おめでとうございます。

「春の叙勲」「危険業務従事者叙勲」―受章者の紹介